

目 次

研究の概要.....	1
東アジア三地域(韓国・中国・台湾)における国語教育と教科書の概況	成實朋子..... 3
日本の国語教科書と児童文学	西山利佳..... 9
2015 年改訂版・韓国初等学校国語教科書を通して考える現代韓国児童文学	大竹聖美..... 18
中国の国語教科書と児童文学	浅野法子..... 27
台湾の国語教科書と児童文学	成實朋子..... 34
【資料1】日本の小学校国語教科書に載った児童文学作品.....	46
【資料2】韓国の小学校国語教科書に載った児童文学作品.....	48
【資料3】中国の国語教科書に載った児童文学作品.....	53
【資料4】台湾の小学校国語教科書に載った児童文学作品.....	59

研究の概要

21世紀を迎え、急速にグローバル化がすすんでいく中で、東アジア各地域（日本・韓国・中国・台湾・日本）はいずれも新しい時代に対応した人材育成を目指すことから、教育改革を進めるようになった。小学校国語教科書もその流れから外れるものではなく、その形式・内容共に大きく変化している。本研究においては、日本・韓国・台湾・中国の四地域の小学校国語教科書について、それぞれの地域における歴史的変遷も踏まえた上で、それぞれの中に掲載されている児童文学作品について検討し、各地域の国語教育における児童文学の取り扱いの差異を明らかにする。

各地域の教科書の中に採択された「児童文学」作品は、各地域の学習指導要領等ナショナルカリキュラムに準拠しながらも、それぞれの地域の児童文学の動向を強く反映しており、いずれの地域においても少なからずの児童文学関係者がこれに関与している。東アジア各地域における小学校国語教科書における児童文学の取り扱われ方についてとりまとめていくことは、東アジア児童文学史を構築していく上での基礎となる要件の一つであるとも換言できるだろう。

本研究を遂行するにあたっては、日本・韓国・中国・台湾、四つの地域の児童文学の研究者がそれぞれに現行の小学校国語教科書を取り上げ、共通の観点を挙げながらそれぞれに分析し、各地域の国語教科書の特徴について明らかにしていく。研究メンバーの役割及び担当地域は下記の通りである。

研究代表・台湾：成實朋子（大阪教育大学）

研究メンバー・日本：西山利佳（青山学院大学）

研究メンバー・韓国：大竹聖美（東京純心大学）

研究メンバー・中国：浅野法子（大阪成蹊短期大学）

研究助言：佐藤宗子（千葉大学名誉教授）

本研究遂行の期間中において、研究成果は随時各種学会等で口頭発表等を行った。特に日本児童文学学会においては、2020年～2022年にわたり、ラウンドテーブルとして下記の研究発表を行った。

2020年 第59回大会（於東京純心大学・オンライン）

「東アジアにおける国語教科書と児童文学—東アジア児童文学史の構築をめざして—」

2021年 第60回大会（於大阪府立中央図書館）

「東アジアの小学校国語教科書における翻訳児童文学—日中韓台の比較から—」

2022年 第61回大会（於宮城教育大学）

「東アジアの小学校国語教科書における児童文学を考える—伝統的言語文化に関する教材を中心に—」

また、2020年度にオンラインの形で実施されたアジア児童文学大会（大邱）においては、研究代表である成實が本件について口頭発表を行った。

本研究は、従来の児童文学研究或いは国語教育研究の基盤に立ちながらも、各地域の中に留まるのではなく、東アジアという広い見地から検討するという点にまずは新しさがある。また、その歴史的な変遷

を、「小学校国語教科書」というメディアから切り込み、その背景となっているそれぞれの地域の児童文学観を明らかにしていくということには、従来の研究にはない学術的な特色、独自性があるといってよい。それぞれの地域の小学校国語教科書が時代の要請をいかに受け取り、形にしているかということを中心に、地域の差異を明らかにし、その情報をアジア児童文学大会等で共有するという事は、東アジア児童文学を構築していく基盤となるものであり、新たな研究領域を立ち上げていくことにつながるものとする。

本報告書を編むにあたり、それぞれの地域の小学校国語教科書に掲載されている作品名をリストとして挙げたので、論文とともに参照されたい。